

螢に

昼は沸き、

蒼蠅なすもの、

夜は夜とて

光る神神。

(ほうたるよ)

言問ひぬ

遠つ神代は

蒼水沫、

石根、木の立。

(ほうたるよ)

神なりき、

かがやきの秘所、

稚きは

驚きぬ。皆。

(ほうたるよ)

聖靈、

我や何とも、

誰か、わかむ、

善きと、悪しきと。

(ほうたるよ)

夜は蒼し、

災いは満つ。

ただ光る

美しき神。

(ほうたるよ)

とらふなし、

この夢、現、

なにを、さは

払はむぞ、また。

(ほうたるよ)

ああ、保て、
雨を山査子、
にほひのみ
留めよ、この闇
(ほうつたるよ)

(「海豹と雲」より)